

平成 30 年 6 月 24 日（日）に城山病院とはびきの医療センターと共同の ICLS コースを行いました。

【ICLS コースとは】

ICLS とは Immediate Cardiac Life Support の頭文字を取った略語で、突然の心停止の傷病者に会った時に医療従事者が「Immediate（すぐに、間髪をおかない）」なチーム蘇生を習得することを目標としています。心停止はどの場所においても起こりうるもので、蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。今回は医師、看護師、理学療法士、検査技師、事務職員など様々な部門で医療に従事する人たちが、6人1組のチームになってシミュレーション実習を繰り返し、ほぼ1日かけて必要な技術とチーム医療を身につけます。今回はインストラクターと受講者計24名が参加し、ブースに分かれて実際の現場を想定した蘇生トレーニングを行いました。



【心停止の人がいたらどうしますか？】

この ICLS コースは二次救急処置の習得が目標ですが、この基本になるのが BLS（Basic Life Support）です。心停止の早期判断と行動ができ、質の高い成人の心肺蘇生、AED の安全・迅速な使用法で、いわゆる一次救命処置と言われるものです。もし、あなたの目の前に心停止の人がいたらどうしますか？傷病者に何らかの反応がみられるまで、または救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けなければなりません。



【蘇生トレーニングと救急医療を学べます】

心肺停止などの状態の患者さんにどう初期対応していくのかをトレーニング出来ます。目の前で急変した患者さんに対して処置の指示、心臓マッサージ、電気ショック、挿管の仕方やその介助方法などになります。また、一次・二次救命の評価・手段についてはもちろんのことですが、緊急事態における冷静な判断力やチームワークが培われます。このトレーニングは、医療従事者の方が対象になります。定員には限りがありますが、定期的で開催させて頂いておりますので、皆様も一度参加されては如何でしょうか。

